

**概況**

【地勢】  
市の北部に位置し、面積4.23km<sup>2</sup>の地域である。区域の西に元荒川、星川、隼人堀川、北に備前堀川、北から南東方向に姫宮落川、北から南方向に庄兵衛堀川が流れている。  
また、星川・隼人堀川交差点は、隼人堀川が星川の下を横断する川の立体交差を形成している。

【地形】  
西側から東側に、自然堤防、ローム台地、後背湿地・デルタ(自然堤防を含む)、ローム台地が位置している。  
北部の東北自動車道、圏央道が交差する久喜白岡JCT付近は、埋立地・干拓地となっている。

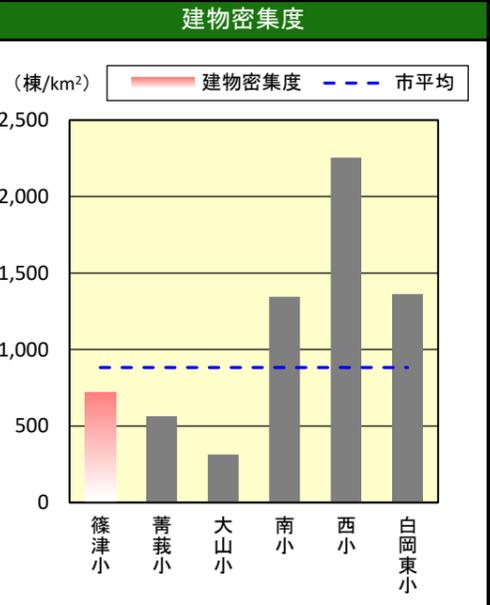
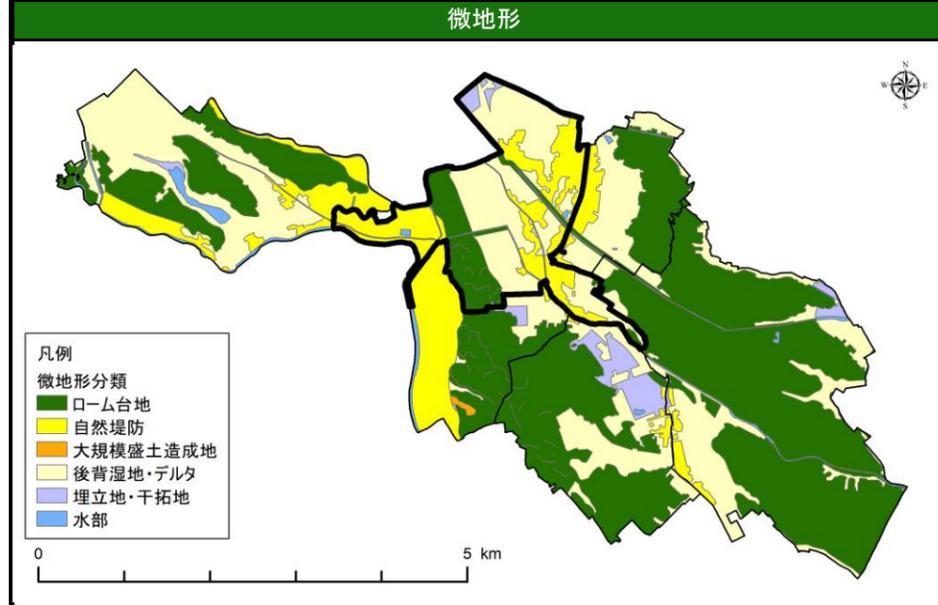
【人口】  
6,619人で、市全体人口の12.54%である。  
人口密度は約1,564人/km<sup>2</sup>である

【建物】  
3,043棟で市全体建物棟数の約13.84%である。  
旧耐震にあたる昭和55年以前に建設された建物は、木造が13.83%、非木造が15.90%である。  
新耐震にあたる昭和55年以降に建設された建物は、木造が13.98%、非木造が12.90%である。  
建物密集度は約719棟/km<sup>2</sup>である。

【防災施設】  
指定避難所は、篠津小学校、篠津中学校、白岡市役所篠津分館の3箇所が指定されている。  
東側の新白岡地区には、要配慮者利用施設が複数集中している。



		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積		4.23 km <sup>2</sup>	24.92 km <sup>2</sup>	16.98%	
人口・家屋の分布状況	人口	6,619 人	52,769 人	12.54%	
	人口密度	1,564.30 人/km <sup>2</sup>	2,117.54 人/km <sup>2</sup>	—	
	男女別人口	男	3,310 人	26,197 人	12.64%
		女	3,309 人	26,572 人	12.45%
	世帯数	2,747 世帯	22,724 世帯	12.09%	
	建物棟数	3,043 棟	21,993 棟	13.84%	
	建物分布状況	木造(S55以前)	559 棟	4,042 棟	13.83%
木造(S56以降)		1,934 棟	13,832 棟	13.98%	
非木造(S55以前)		97 棟	608 棟	15.90%	
非木造(S56以降)		453 棟	3,511 棟	12.90%	
密集度	719.17 棟/km <sup>2</sup>	882.54 棟/km <sup>2</sup>	—		



避難施設	施設名称	所在地	指定緊急避難場所	指定避難所
	篠津小学校	篠津2644	○	○
篠津中学校	篠津2617	○	○	
白岡市役所篠津分館	篠津502-3	○	○	

防災関連施設	市役所・警察・消防		要配慮者利用施設		
	施設名称	所在地	種類	地区内	市全域
	白岡消防署	寺塚162-1	高齢者施設	4	18
			児童福祉施設	4	19
			障がい児・者施設	0	13
		医療施設	6	27	
		学校	2	13	

**地区の災害特性**

**風水害**

- 中川流域の想定浸水深は、0.5m以上～3.0m未満が多くを占めている。河川・水路沿いは家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)となっている。
- 利根川・小山川の想定浸水深は0.5m以上～3.0m未満が多くを占め、地区北及び東側に3.0m以上～5.0m未満の浸水深が点在する。他河川と比較し、浸水範囲が最も広く、浸水深も深い。
- 荒川は、想定浸水深は0.5m以上～3.0m未満が多くを占める。浸水範囲は利根川・小山川とほぼ同じであるが、浸水深は地区北東で浅くなる。
- 中川流域や荒川の場合、白岡市役所篠津分館南北地域や新白岡駅周辺では校区内の他地域に比べ、浸水深が浅い。

**地震被害**

- 関東平野北西縁断層帯地震では全域震度6弱、液状化危険度は5<PL≤15でやや高い。
- 茨城・埼玉県境地震では全域震度6弱、液状化危険度は、15<PLと極めて高い。
- 関東平野北西縁断層帯地震による全壊率は、白岡市役所篠津分館南北地域や一部の地域を除き、0～3%である。
- 茨城・埼玉県境地震では、野牛地域の一部で10%以上全壊する可能性がある。

**防災対策の方向性**

**風水害**

- 複数の河川や水路が存在します。ハザードマップを参考にし、避難所への安全な避難ルートを確認しましょう。
- 安心安全メールやホームページなど、市が発信する最新の避難情報を入力しましょう。
- 自主防災組織の設立や近隣の声掛けなど、地域の防災対策に取り組み、早めの避難行動をとりましょう。
- すでに浸水が始まっている場合は、無理に避難をせず、自宅の高い階へ避難しましょう。

**地震被害**

- ハザードマップを参考にし、家具の固定や飛散防止フィルムを窓ガラスに貼る等対策をしましょう。
- 地震時、家具が転倒する恐れがあります。寝室には高さのある家具の設置は控えましょう。
- 地震の際は、落下物から身を守りましょう。
- 耐震改修に係る市の補助制度を活用するなど建物の耐震化を行いましょう。

# 白岡市 地区別防災カルテ

<結果>

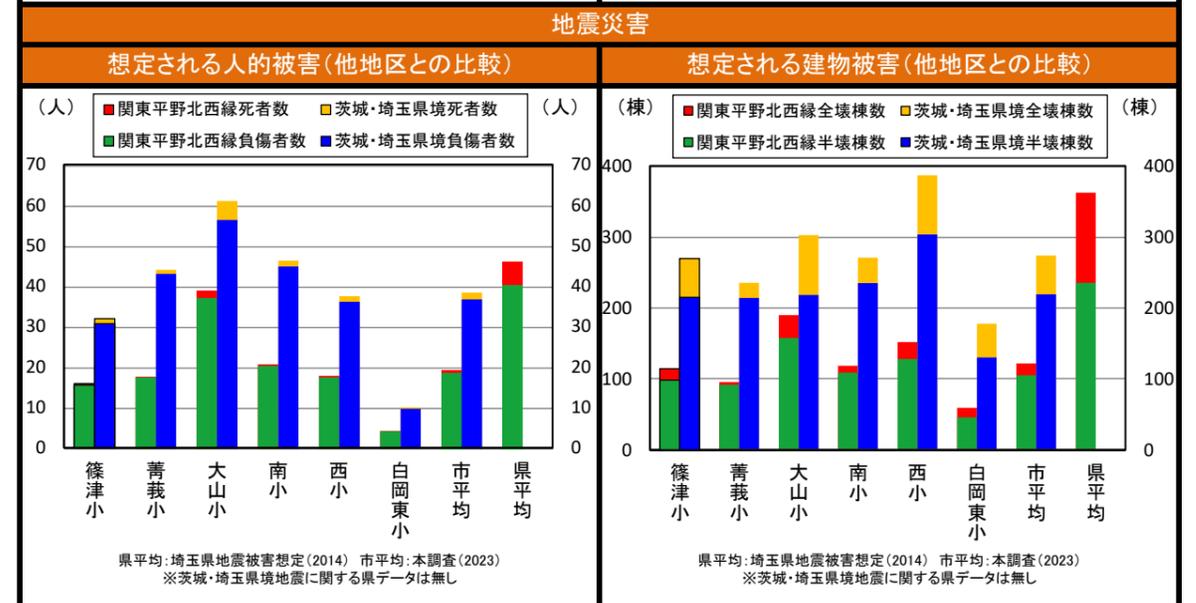
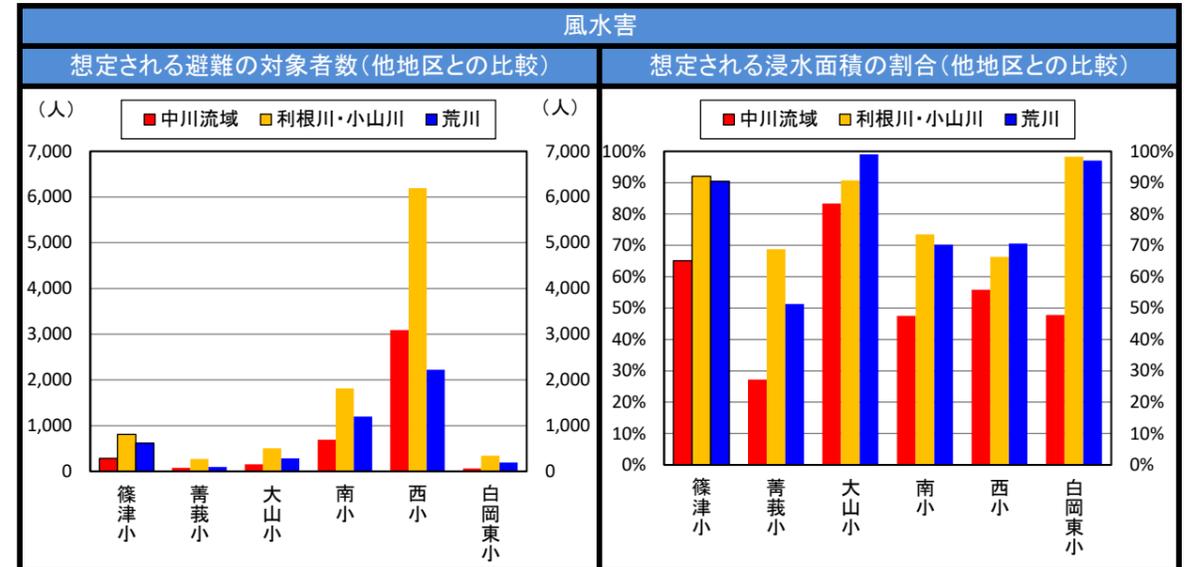
1 篠津小学校区

風水害									
浸水想定被害結果		避難の対象者数(人)		浸水する住宅数(棟)		浸水面積(km <sup>2</sup> )		収容人数過不足(人)	
		小学校区(a)	市全体合計(b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	収容人数	過不足
		中川流域浸水想定区域	286	4,363	82	1,390	2.76	12.87	514
利根川・小山川浸水想定区域	808	9,934	215	3,044	3.89	19.87	204	-604	
荒川浸水想定区域	613	4,602	161	1,398	3.82	18.76	204	-409	

地震災害										
関東平野北西縁断層帯地震 被害想定結果		震度					液状化危険度			
		最大震度		5.81			最大PL値		12.70	
		5弱以下	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
面積(km <sup>2</sup> )	0.01	0.00	4.22	0.00	0.00	0.70	0.00	3.53	0.00	
面積率(%)	0.16	0.00	99.84	0.00	0.00	16.64	0.00	83.36	0.00	
人的被害(人)					建物被害(棟)					
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)			小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
死者数	0	3	11.44%		木造 全壊	14	89	15.66%		
負傷者数	15	113	13.67%		木造 半壊	92	588	15.65%		
重傷者数	1	6	10.83%		非木造 全壊	2	10	19.00%		
避難者数	60	380	15.67%		非木造 半壊	7	41	16.45%		
避難所避難者数	36	228	15.67%		火災 出火	0.04	0.26	-		
収容人数	760	収容人数過不足	724		火災 焼失	0.06	0.44	13.45%		
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)					
断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		支障人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
	3,034	24,720	12.27%			2,032	12,080	16.82%		

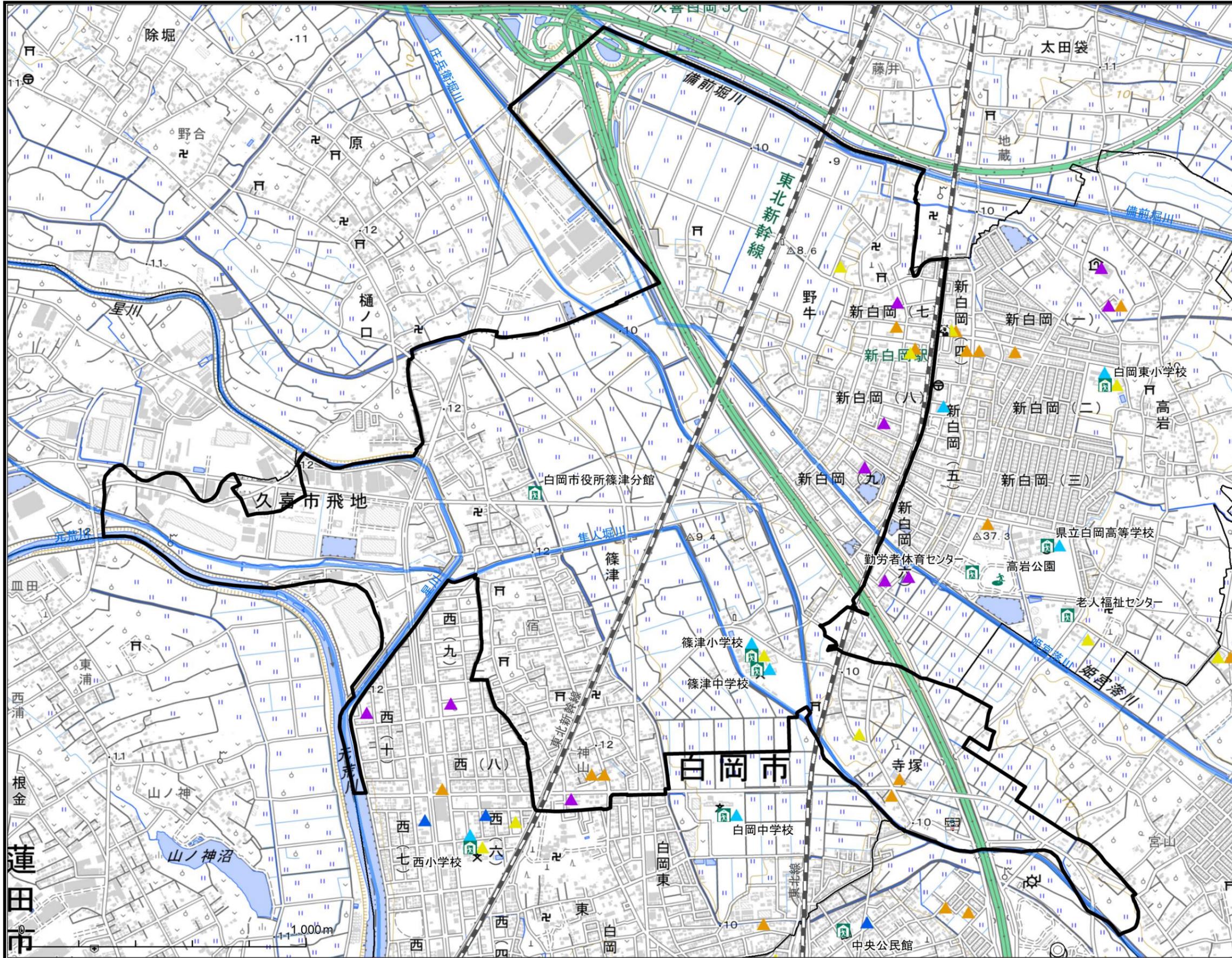
茨城・埼玉県境地震 被害想定結果		震度					液状化危険度			
		最大震度		5.98			最大PL値		18.14	
		5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
面積(km <sup>2</sup> )	0.01	0.00	4.22	0.00	0.00	0.70	0.00	0.00	3.53	
面積率(%)	0.16	0.00	99.84	0.00	0.00	16.64	0.00	0.00	83.36	
人的被害(人)					建物被害(棟)					
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)			小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
死者数	1	10	12.39%		木造 全壊	49	301	16.38%		
負傷者数	31	222	13.80%		木造 半壊	201	1,234	16.28%		
重傷者数	2	18	11.41%		非木造 全壊	5	27	19.51%		
避難者数	180	1,144	15.76%		非木造 半壊	14	83	16.92%		
避難所避難者数	108	687	15.76%		火災 出火	0.12	0.79	-		
収容人数	760	収容人数過不足	92		火災 焼失	1.45	10.12	14.31%		
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)					
断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		支障人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
	4,834	36,943	13.09%			2,065	12,232	16.88%		

注 地震被害想定結果の建物被害、ライフライン被害は、冬18時強風時、死傷者数は冬深夜強風時の結果  
 避難所避難者数、上水道断水人口、下水道支障人口は、地震発生直後の結果  
 表中の(a)及び(b)の数字は、小数点以下を四捨五入しているため、割合(a/b)の数字と合わない場合もある



災害の種類	災害の評価(%)	数値	順位	評価指標
風水害	浸水(洪水) 洪水の影響を受ける避難人口率 避難の対象者数(人)/地区の総人口(人)	87.8	4/6	浸水(洪水)
地震被害	地盤被害 液状化の被害面積率 危険度15<PL(m <sup>2</sup> )/地区全体面積(m <sup>2</sup> )	16.6	6/6	地盤被害
	建物被害 地震による建物被害率 全壊棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	98.2	5/6	建物被害
	火災被害 火災による建物被害率 焼失棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	100.0	1/6	火災被害
	人的被害 地震災害による死傷人口率 死傷者数(人)/地区全体人口(人)	99.5	4/6	人的被害
避難者	地震災害による避難人口率 避難所避難者数(人)/地区全体人口(人)	98.4	4/6	避難者

グラフの見方:  
 評価指標は、上記の災害の種類を、災害の評価に基づき、各区1位が10点になるように表したものである。グラフの多角形面積が広いほど、地域が総合的に「災害に強い」とを示す。  
 ※洪水と地盤被害の県平均データは公開されていないため、中間値5点と仮定した。



篠津小学校区及びその周辺の指定避難所、指定緊急避難場所、公共施設、要配慮者利用施設を表示した図である。

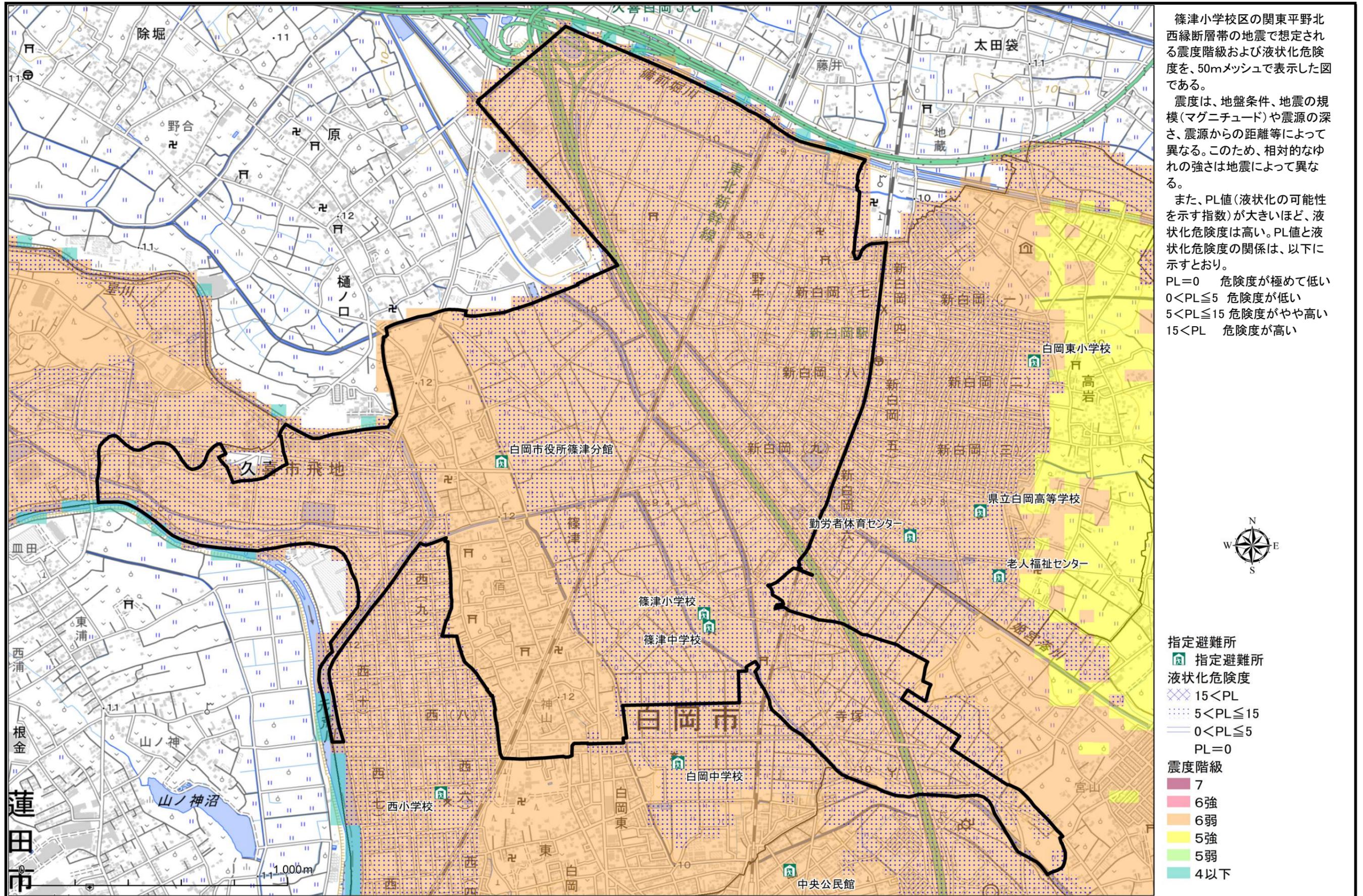
- 市役所
- 🏠 指定避難所
- 🏡 指定緊急避難場所
- 🚒 消防署
- 👮 警察(駐在所・交番)
- 👴 要配慮者施設\_高齢者施設
- 👦 要配慮者施設\_児童福祉施設
- ♿ 要配慮者施設\_障がい児・者施設
- 🏥 要配慮者施設\_医療施設
- 🎓 要配慮者施設\_学校

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

# 白岡市 地区別防災カルテ

＜地震 想定される震度および液状化危険度分布図 関東平野北西縁断層帯の地震＞

1 篠津小学校区

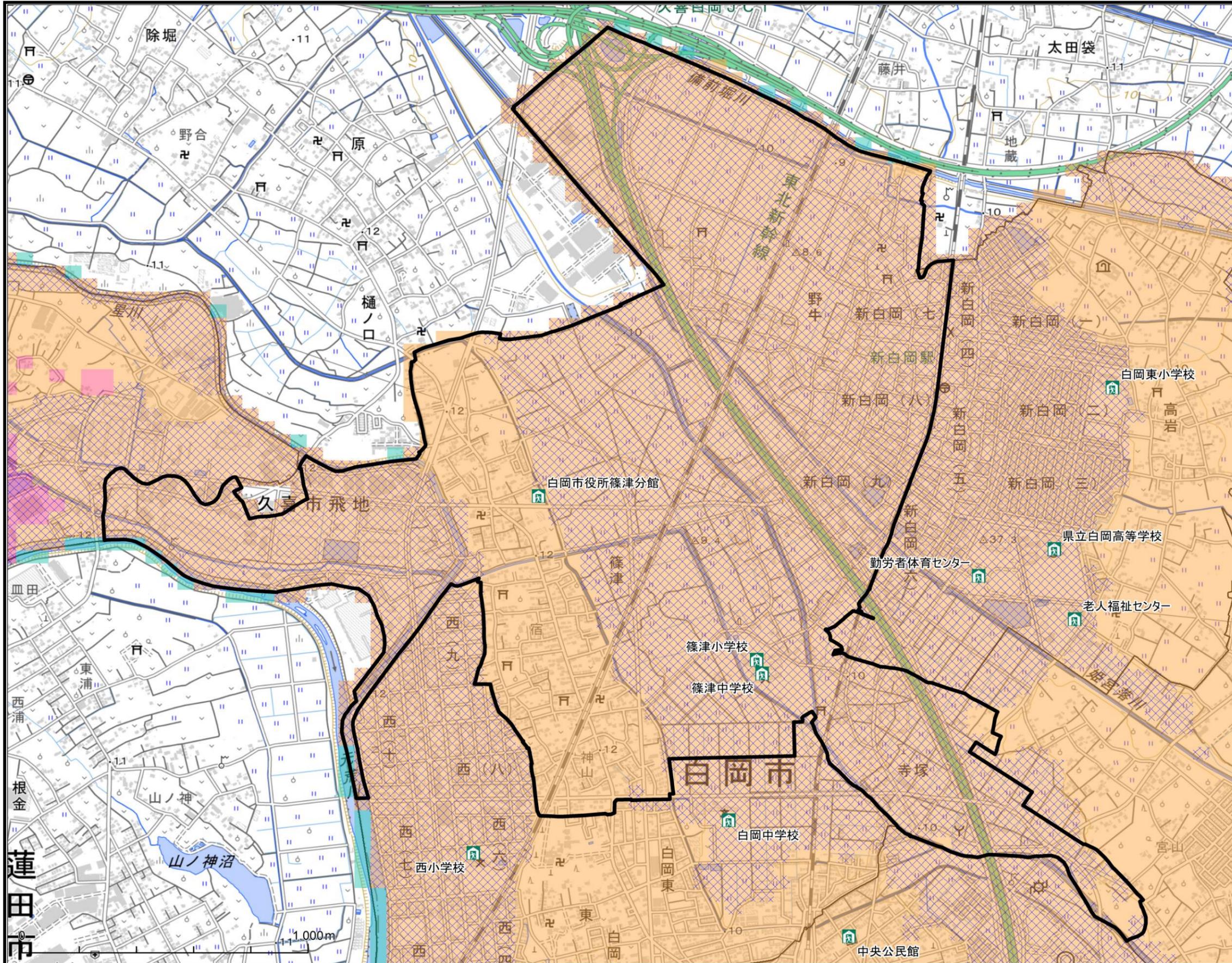


※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

# 白岡市 地区別防災カルテ

<地震 想定される震度および液状化危険度分布図 茨城・埼玉県境地震>

1 篠津小学校区



篠津小学校区の茨城・埼玉県境地震で想定される震度階級および液状化危険度を、50mメッシュで表示した図である。

震度は、地盤条件、地震の規模(マグニチュード)や震源の深さ、震源からの距離等によって異なる。このため、相対的なゆれの強さは地震によって異なる。

また、PL値(液状化の可能性を示す指数)が大きいほど、液状化危険度は高い。PL値と液状化危険度の関係は、以下に示すとおり。

PL=0 危険度が極めて低い  
 0<PL≤5 危険度が低い  
 5<PL≤15 危険度がやや高い  
 15<PL 危険度が高い



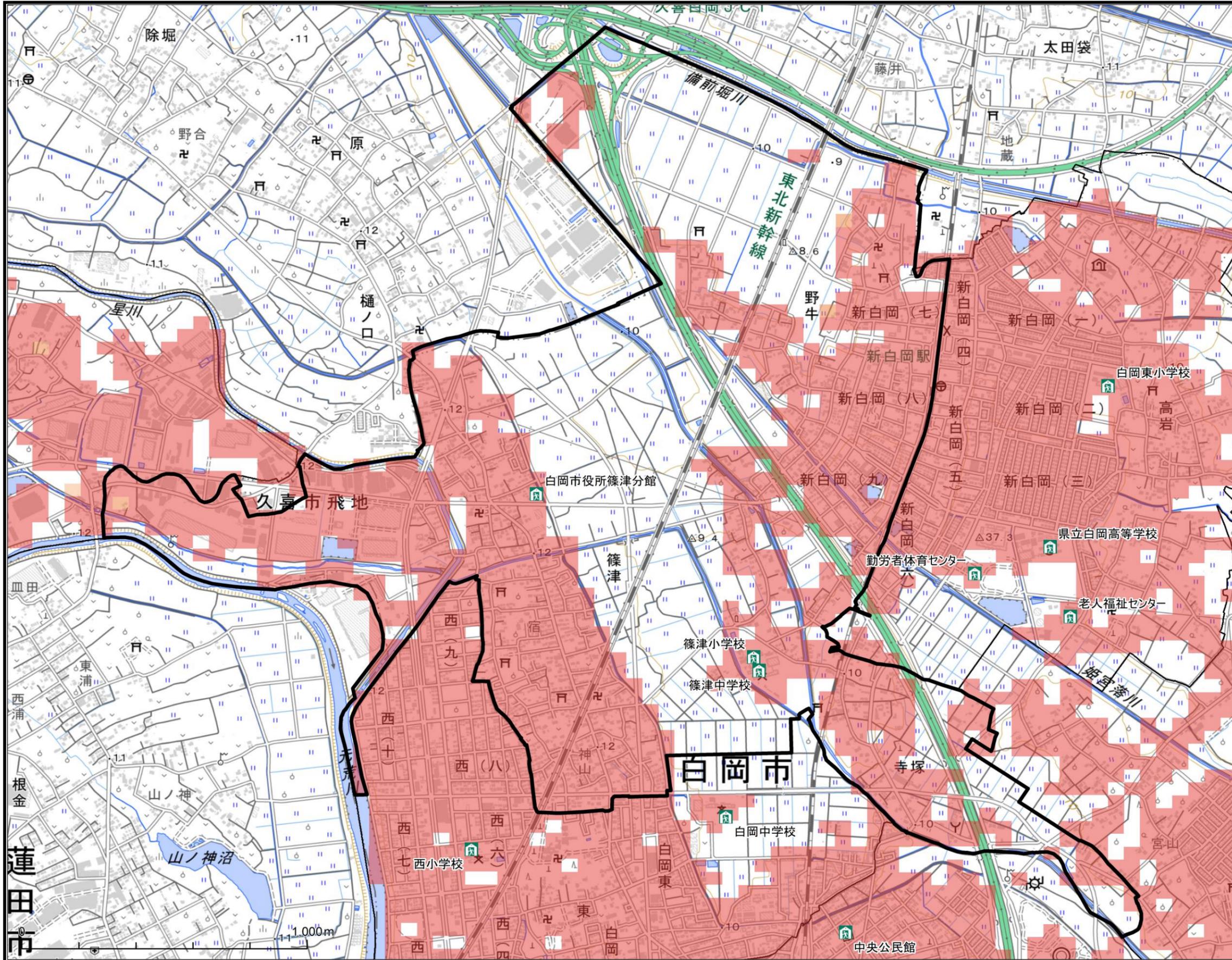
- 指定避難所
- 指定避難所
- 液状化危険度
- 15<PL
  - 5<PL≤15
  - 0<PL≤5
  - PL=0
- 震度階級
- 7
  - 6強
  - 6弱
  - 5強
  - 5弱
  - 4以下

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

# 白岡市 地区別防災カルテ

<地震 想定される建物全壊率分布図 関東平野北西縁断層帯地震>

1 篠津小学校区



篠津小学校区の関東平野北西縁断層帯地震で想定される建物全壊率を50mメッシュで表示した図である。  
 建物全壊率は、ゆれの強さ、液状化の程度、建物の構造、建築年代等によって異なる。



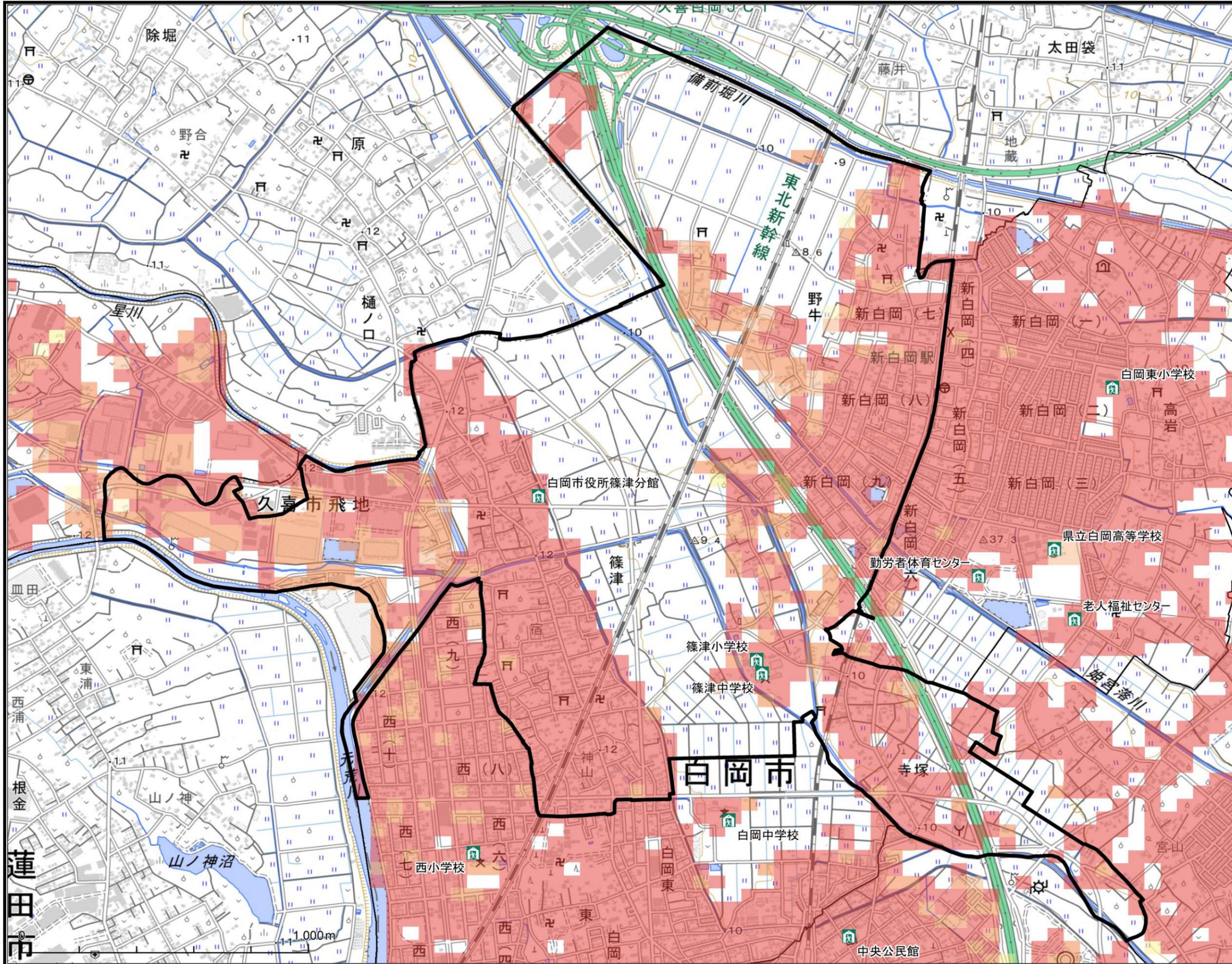
- 指定避難所  
 指定避難所  
 建物全壊率  
 10%以上  
 7~10%  
 5~7%  
 3~5%  
 0~3%

※背景図は地理院タイル（淡色地図）、鉄道、道路、駅は国土数値情報（国土交通省）を使用

# 白岡市 地区別防災カルテ

<地震 想定される建物全壊率分布図 茨城・埼玉県境地震>

1 篠津小学校区

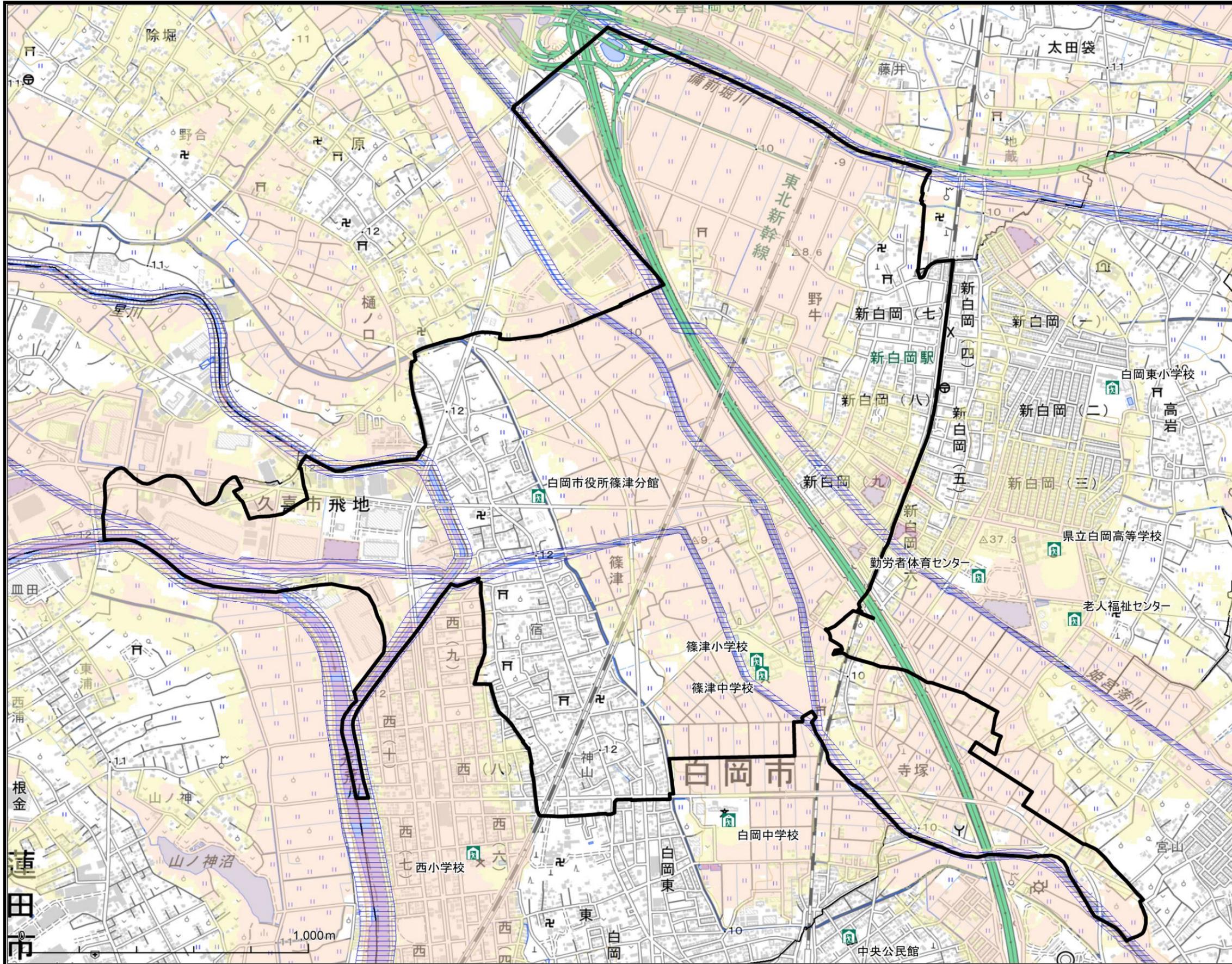


篠津小学校区の茨城・埼玉  
県境地震で想定される建物全  
壊率を50mメッシュで表示した  
図である。  
建物全壊率は、ゆれの強さ、  
液状化の程度、建物の構造、  
建築年代等によって異なる。



- 指定避難所  
指定避難所  
建物全壊率
- 10%以上
  - 7~10%
  - 5~7%
  - 3~5%
  - 0~3%

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用

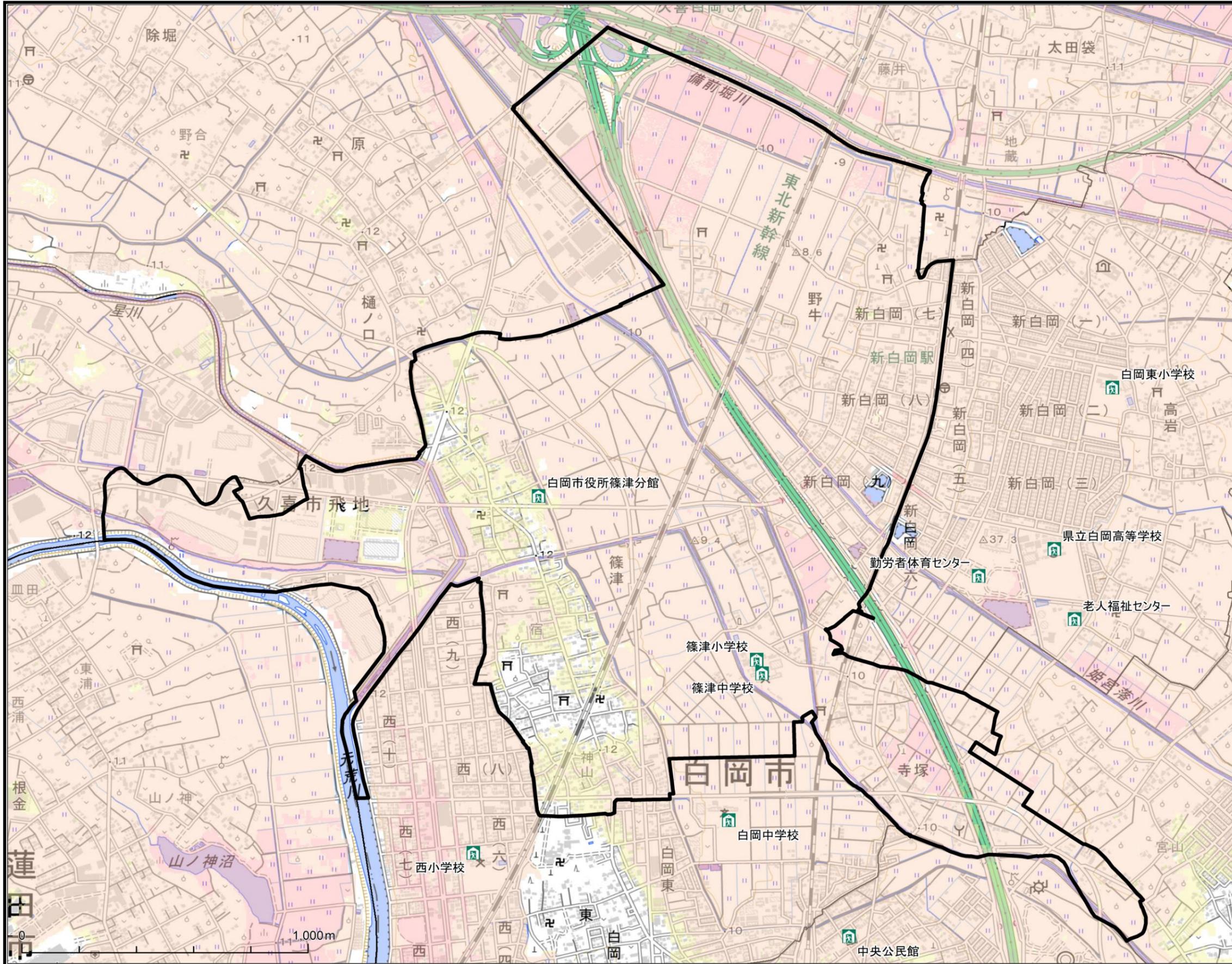


篠津小学校区の中川流域の浸水想定区域を示した図である。  
 浸水想定区域は、浸水被害想定調査で対象とした河川のうち、中川流域の浸水想定区域を浸水深別(0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満)に表示した。  
 ※浸水想定区域図とは、水防法により河川管理者が、降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示したものである。  
 ※家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)とは、河川の流れにより河岸が削られ土地が流出するおそれがある区域である。



- 指定避難所
- 指定避難所
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 河岸侵食
- 想定最大規模
- 浸水深ランク
- 10.0m以上20.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

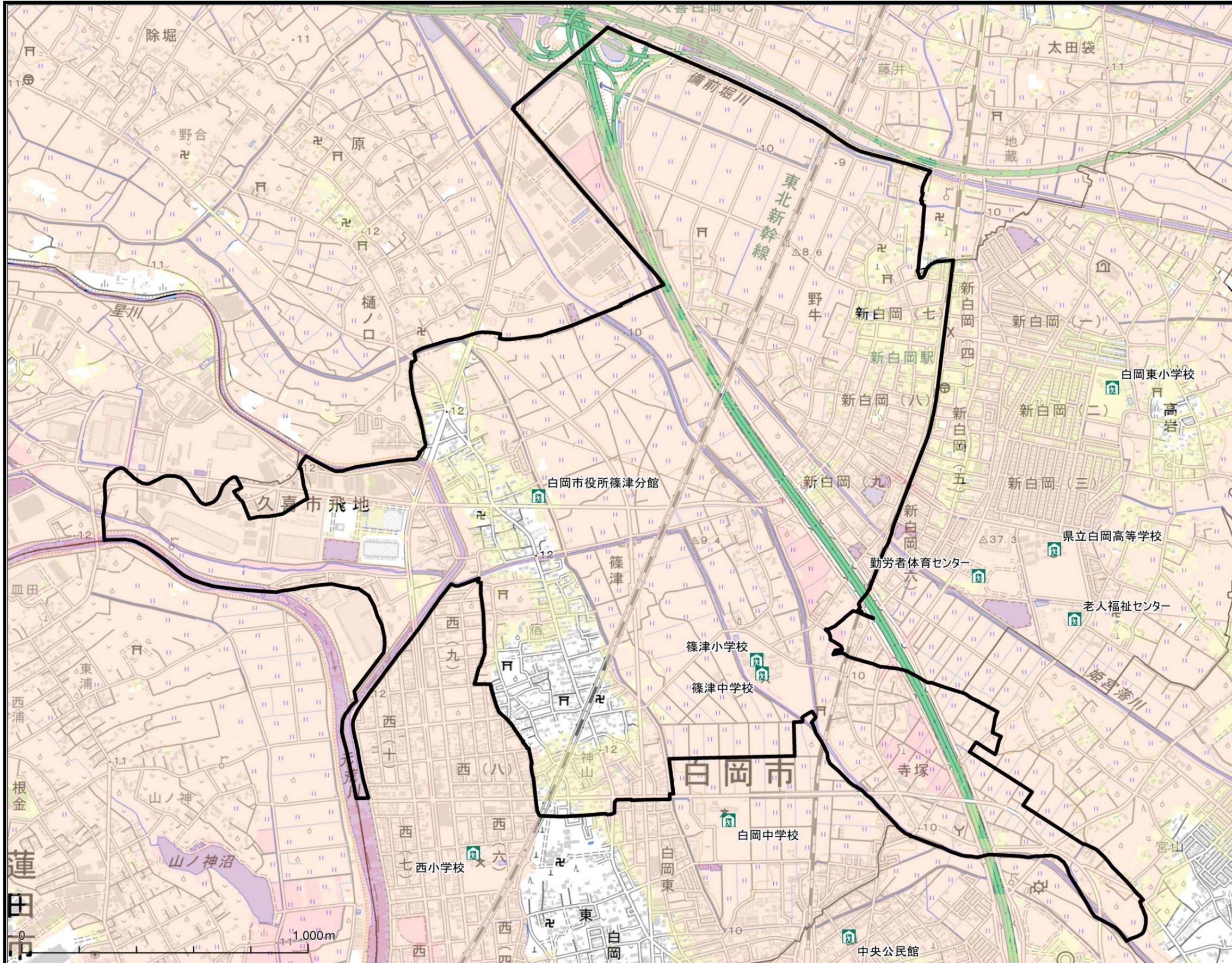
※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用



篠津小学校区の利根川・小山川の浸水想定区域を示した図である。  
 浸水想定区域は、浸水被害想定調査で対象とした河川のうち、利根川・小山川の浸水想定区域を浸水深別(0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満)に表示した。  
 ※浸水想定区域図とは、水防法により河川管理者が、降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示したものである。

- 指定避難所
- 指定避難所
- 想定最大規模
- 浸水深ランク
- 10.0m以上20.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用



篠津小学校区の荒川の浸水想定区域を示した図である。浸水想定区域は、浸水被害想定調査で対象とした河川のうち、荒川の浸水想定区域を浸水深別(0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満)に表示した。  
 ※浸水想定区域図とは、水防法により河川管理者が、降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示したものである。



- 指定避難所
- 指定避難所
- 想定最大規模
- 浸水深ランク
- 10.0m以上20.0m未満
- 5.0m以上10.0m未満
- 3.0m以上5.0m未満
- 0.5m以上3.0m未満
- 0.5m未満

※背景図は地理院タイル(淡色地図)、鉄道、道路、駅は国土数値情報(国土交通省)を使用